

長引く咳の診断と治療外来 がいそう (慢性咳嗽外来) のご案内

「長引く咳」は、患者さんが医療機関を受診する理由のうち最もポピュラーな症状のひとつです。そのような場合、胸部レントゲン写真で何らかの異常がみられれば診断への糸口が得られることが多いのですが、レントゲン写真で異常がみられない場合にはかえって診断や治療が難しいこともあり、そのような患者さんを適切かつ早期に診断・治療することは、呼吸器科医師の重要な役割です。



専門外来の開設について

【診療日】 毎週木曜日 午後（予約制）

【担当医】 北里 裕彦



北里 裕彦

- ・呼吸器内科部長
- ・日本内科学会 総合内科専門医
- ・日本呼吸器学会 専門医・指導医
- ・日本アレルギー学会 専門医・指導医
- ・日本感染症学会 ICD
- ・日本感染症学会 暫定指導医 など

※他の医療機関ですでに治療を受けられているにも関わらず症状が改善しないという患者さんは、できればその医療機関から紹介状を書いていただいた上で受診されることをお勧めします。

当院では、胸部レントゲン写真で異常がみられないのに咳が長引く患者さん（慢性咳嗽）に対し、当科で独自に作成した問診票や血液検査・呼吸機能検査・画像検査などを用いて診断、治療を行うシステムをとっております。

長引く咳に苦しんでいる患者さんや、そのような患者さんの診療にお困りの先生方にとって、少しでもお役に立てることができれば幸いです。

詳しくは、呼吸器内科外来へお問い合わせください。

約 2 週間後の再来時における咳嗽の改善率
(2012 年 11 月～2013 年 1 月)

- 明らかな改善（咳が 10 分の 3 以下に減少）：**68.8%**
- 中等度改善を含めた改善率：**81.3%**

古賀 智絵ほか：『胸部X線写真で異常を認めない遷延性 / 慢性咳嗽患者の臨床的検討』（第 53 回日本呼吸器学会学術講演会にて発表）

